

「症状」でわかる病気 No.11

「尿の出が悪い」or「尿をもらす」

細井泰男・山田記念病院前立腺センター所長

病気予防は、第一に日常の健康管理、次いで「丹羽SOD様食品」

健康の管理には、病気に関する知識が欠かせません。本シリーズでは、さまざまな症状と病気との関連を掲載し、読者の方が適切な治療の機会を逸することなく、早期の精密検査をするための資料を提供いたします。なお、本シリーズは、日刊スポーツ新聞社の「健康連載（医学ジャーナリスト・松井宏夫著）」から主に引用いたしました。

また、食生活や運動などの健康管理だけでは、さまざまな病気を予防できないことも事実です。そこで、病気の90%に関係するといわれる活性酸素対策に、「丹羽SOD様食品」を摂取するの一方策です。

日本SOD研究会がおとどけする  
健康増進と病気・老化予防のQ&A

No. 35



夏はビールだ！と、しばし酒場で涼を求める人々。ビール1本のつもりが2本、3本…。ホロ酔い気分です。そして、ビールの飲みすぎで、ちよつとトイレへ駆け込む。同じような人々でトイレは長蛇の列でいく。自分の列の最前列では白髪の老人が隣がほとんど代わるのに、トイレが終わるそうにない。隣が3人終わって、やっと老人も終わった。並んでいる人たちの膀胱は今にもち切れそう。

Q：前立腺肥大症の発症機序について説明してください。

A：「トイレではお年寄りの後ろに並ぶな！」といえます。尿の出が悪いんです。この症状からまず考えら

このQ&Aは、病気の90%に関係するといわれる活性酸素、活性酸素を除去する丹羽SOD様食品など、さまざまな症状や疾患について、最新の情報を掲載しています。定期的に発行されますので、毎号お集めになりますと、健康管理ノートができます。このQ&Aは、最寄りの丹羽SOD様食品取扱店でお求めになれます。

れる病気は前立腺肥大症です」というのは、山田記念病院（東京・墨田区）前立腺センターの細井泰男所長（医博・60）。

前立腺は膀胱の出口部分で尿道を取り囲むようにあり、精液の一部である前立腺液を分泌。男性だけにある器官で、ここが加齢とともに肥大し、尿道を圧迫す

目次

- 「前立腺肥大症」の発症機序
- 「前立腺肥大症」の症状
- 「尿失禁」の治療法
- 用語の解説
- 前立腺肥大症の治療
- 腹圧性尿失禁を治す体操

るので尿が出にくいなどの  
排尿障害を起こす。

「肥大はすでに30代から始まって  
おり、50代以上で50%に肥大症があ  
り、80代ともなると90%にみられま  
す。男性ホルモンが関係している  
と考えられています。」

Q: 前立腺肥大症の症状について説  
明してください。

A: 症状は尿の出が悪いだけ  
なく、さまざま。大きくは閉塞症状と  
刺激症状に分けられる。

**閉塞症状**

閉塞症状には「尿の出が悪い」  
「残尿感がある」「尿の勢いが弱い」  
など。

**刺激症状**

刺激症状としては、「何度もトイ  
レに行く」「夜間に何度もトイレに  
行く」などがある。

**進行すれば、急性尿閉**

そして、さらに進行すると「急性  
尿閉」といって、突然尿が出なくな  
ること。

「風邪薬を飲んだりして突然とい  
うケースがあり、救急車で運び込ま

れます。管で尿を出すと、一時的な  
尿閉の場合には、また排尿ができる  
ようになります。泌尿器科へ来る患  
者さんの多くは圧迫症状を訴えてら  
れます。刺激症状だけを訴えてこら  
れる方は少ないようです。

**尿の出が悪い**

50代以上の男性50%が前立腺肥大

「尿の出が悪い」「夜間に何度もトイレに行く」などがある。これは前立腺肥大の症状である。前立腺肥大は、50代以上の男性の50%にみられる。尿の出が悪い、夜間に何度もトイレに行く、残尿感がある、尿の勢いが弱い、尿が漏れるなどがある。前立腺肥大は、尿の出が悪い、夜間に何度もトイレに行く、残尿感がある、尿の勢いが弱い、尿が漏れるなどがある。前立腺肥大は、尿の出が悪い、夜間に何度もトイレに行く、残尿感がある、尿の勢いが弱い、尿が漏れるなどがある。

泌尿器科 松井善夫

Q: 前立腺肥大症以外に、「尿の出  
が悪い」病気はありますか？

A: このほか、男性では細菌感染で  
炎症が起きた**前立腺炎**や、**前  
立腺癌**が尿道を圧迫している可  
能性もある。

また、女性では**膀胱炎**が原因  
となることが多いが、この場合は排  
尿時に痛みを伴うので分かる。

Q: 「尿を漏らす」ことがある場合  
には、どんな病気が考えられま  
すか？

A: 「尿を漏らす」という症状から、  
まず考えられるのは、

**男性の場合は、前立腺肥大症**

患者さんが男性で50代以上であれ  
ば前立腺肥大症です。男性ホルモン  
が関係し、加齢とともに前立腺が肥  
大してくる病気です。」

細井所長は言う。そして、続ける。

「前立腺肥大によって膀胱が過緊張状  
態になり、あまり尿がたまっていな  
いのに尿意を覚えます。これがさら  
に進行すると、急に尿意を覚え、我

慢ができなくなってしまう、漏らし  
てしまいます。これを切迫性尿失禁  
といっています。」

**女性の場合は、生理的なもの**

一方、女性の場合は、尿失禁を一  
人で悩んでいることが多い。ある調  
査によると、60歳以上の女性の4人  
に一人が尿失禁ともいわれている。  
そして、女性の尿失禁は病気とい  
より、ひとつの状態と考えられてい  
る。

「女性の尿道は3〜4センチと短  
いところへもつてきて、膀胱や尿道  
を支えている筋肉が、出産や年をと  
ることなどで緩むと膀胱が垂れ下が  
つてきて、尿道が1センチ程度にな  
ったりします。尿がすぐにも出そう  
な状態にあるわけです。ここに腹圧  
が加わると、尿が漏れることになり  
ます。」

**腹圧性尿失禁**

大声で笑ったり、咳きをした時に  
尿を漏らすというのは、腹圧性尿失  
禁。

**反射性尿失禁**

このほか、脊髄損傷、脊髄腫瘍な  
どが原因で神経が遮断され、尿意が

大脳に伝わらないため、尿が膀胱に入ってくるのと反射的に膀胱が縮んで尿を出してしまう反射性尿失禁もある。

**Q**：尿失禁の治療法を説明してください。

**A**：治療はそれぞれの失禁タイプによって異なってくる。

**切迫性尿失禁**

切迫性尿失禁であれば、前立腺肥大症など原因を治療する。

**腹圧性尿失禁**

腹圧性尿失禁では、「排尿口の括約筋を締める体操を行うのがいいでしょう。そのほかには薬物療法があり、それでも治らないときはコラーゲンを注入して、尿道を元の位置に戻す方法もあります。」

腹圧性尿失禁は欧米の女性のような肥満タイプは少ないので、体操療法で治る人が多い。

**原因不明なうき**

原因不明なときには、膀胱の収縮を抑える薬を用いたりする。

一人で悩まず、まずは専門医に相談を。

**尿をもらす**

「尿をもらす」という症状から、まず考えられるのは、患者さんが男性50代以上であれば前立腺（せん）肥大症です。男性ホルモンが過剰に分泌されると、前立腺が肥大してくる病気です。」

山田幸男院長（東京・墨田区・前立腺センターの細井康男所長（奥博・60代）は言う。そして、続ける。「前立腺肥大症で膀胱（ぼうこう）が過剰に圧迫されると、あまり尿がたまっていないのに尿意を覚えます。これを尿意に先行する尿失禁と捉え、我慢ができていなくなると、漏らしてしまう。これを切迫性尿失禁（いっせきせう）といいます。」

一方、女性の場合は、尿失禁を一人で悩んでいることが多く、ある調査によると、60歳以上の女性の4人に1人が尿失禁と上をわけています。女性の場合は尿失禁が気になっているという状態が半数以上です。」

**筋力が緩むと笑っただけで失禁**

「尿意をもらす」という症状から、まず考えられるのは、患者さんが男性50代以上であれば前立腺（せん）肥大症です。男性ホルモンが過剰に分泌されると、前立腺が肥大してくる病気です。」

山田幸男院長（東京・墨田区・前立腺センターの細井康男所長（奥博・60代）は言う。そして、続ける。「前立腺肥大症で膀胱（ぼうこう）が過剰に圧迫されると、あまり尿がたまっていないのに尿意を覚えます。これを尿意に先行する尿失禁と捉え、我慢ができていなくなると、漏らしてしまう。これを切迫性尿失禁（いっせきせう）といいます。」

一方、女性の場合は、尿失禁を一人で悩んでいることが多く、ある調査によると、60歳以上の女性の4人に1人が尿失禁と上をわけています。女性の場合は尿失禁が気になっているという状態が半数以上です。」

「尿意をもらす」という症状から、まず考えられるのは、患者さんが男性50代以上であれば前立腺（せん）肥大症です。男性ホルモンが過剰に分泌されると、前立腺が肥大してくる病気です。」

山田幸男院長（東京・墨田区・前立腺センターの細井康男所長（奥博・60代）は言う。そして、続ける。「前立腺肥大症で膀胱（ぼうこう）が過剰に圧迫されると、あまり尿がたまっていないのに尿意を覚えます。これを尿意に先行する尿失禁と捉え、我慢ができていなくなると、漏らしてしまう。これを切迫性尿失禁（いっせきせう）といいます。」

一方、女性の場合は、尿失禁を一人で悩んでいることが多く、ある調査によると、60歳以上の女性の4人に1人が尿失禁と上をわけています。女性の場合は尿失禁が気になっているという状態が半数以上です。」

本シリーズは、日刊スポーツ新聞社の「健康連載（医学ジャーナリスト・松井宏夫著）」から主に引用いたしました。同誌には、健康に関する記事が連載されています。関心がある方は一読をお薦めいたします。

**SOD様食品の開発者・丹羽勲負博士のプロフィール**

昭和37年、京都大学医学部卒業。医学博士。丹羽免疫研究所所長。土佐清水病院院長。活性酸素とSODの研究を臨床家として国内はもちろん、世界的にも最も早くから（1970年代から）手掛け、この分野の研究の世界的権威。SODなどの生体防御の研究論文が“Blood”を始めとする著名な英文国際医学雑誌に続けて発表され、その数は50編を超えます。国際医学専門誌（Biochemical Pharmacology）への投稿論文の審査員もしています。



国内では、パーチェット病やリウマチ、アトピー性皮膚炎の治療・研究に長年従事し、多くの難病の原因を活性酸素の異常から解明し、これら難病の治療に関して、SOD様作用食品等の低分子抗酸化剤や抗癌剤を自然の植物・穀物より開発し、大きな治療効果を上げています。

一般向けの著書に「激増 活性酸素が死を招く」（日本テレビ刊）、「クスリで病気は治らない」（みき書房刊）、「アトピーがぐんぐん良くなる本」（日本テレビ刊）などがあり、大きな反響を得ています。



**命と健康のために SODロイヤル**

SODロイヤル（丹羽SOD様食品）は、丹羽博士が長年をかけて開発した、天然の植物・種子を素材にした天然製剤で、副作用などの心配は皆無の健康食品です。

国際製法特許取得

**用語の解説**

**前立腺肥大症の治療**

薬物療法、外科的治療法がある。

薬物療法としては、漢方、前立腺の機能的収縮を防ぐ 1 (アルファ・ワン) 遮断薬、肥大した前立腺を縮小させる抗男性ホルモン剤が用いられる。

外科的治療法としては、尿道から内視鏡を入れ、肥大した前立腺を削り取る、「TURP (経尿道的前立腺切除術)」、レーザー治療、コイルやステントで尿道を確保する方法などがある。

**腹圧性尿失禁を治す体操**

尿道や肛門の周囲の筋肉を骨盤低筋という。この緩んだ骨盤低筋を引き締めるには、普段から肛門周囲の筋肉を強く締める体操が効果的。

手と脚を肩幅に開いて机に手つき、脛と肛門を5秒間締める。

椅子に座って肩の力を抜く。脚は肩幅に開いてリラックス。そして、脛と肛門を5秒間締める。脚を肩幅に開いて、あおむけに寝る。両膝は軽く立て、脛と肛門を5秒間締める。  
④肘、膝を曲げて両手両足をつき、脛と肛門を締める。この運動を一日50〜100回行います。

**丹羽博士の著書**

丹羽博士の、一般向けの著書の一部を紹介いたします。活性酸素と病気、SODについて、平易に書かれています。


- 「激増 活性酸素が死を招く」(日本テレビ放送網(株))
- 「アトビーがぐんぐん良くなる本」(日本テレビ放送網(株))
- 「アトビー99%治療の証明」(日本テレビ放送網(株))
- 「丹羽博士の正しい『アトビー』の知識」(廣濟堂(株))
- 「SOD製剤が癌治療に革命を起こす」(廣濟堂(株))
- 「クスリで病気は治らない」(みき書房(株))
- 「活性酸素で死なないための食事学」(廣濟堂(株))



バックナンバーについて  
日本SOD研究会では、これまでに発行した「Q&A」のバックナンバーを用意しています。様々な疾患と活性酸素の関係について掲載しています。  
ご希望の方は、最寄りの取扱店または、日本SOD研究会(〇四九 二五五 八七二八・FAX兼用)までご連絡ください。

SOD-IST (ソディスト) は丹羽療法における疾病治療・予防を目的とした患者さんや愛用者の方々の体験から生まれました。まさに治療が偶然見つけた素肌への贈り物です。SOD様ナチュラルフーズ・SOD様ナチュラルクリーム・天然の低刺激粹練石鹸の組合せにより“体の内部・外部から美を養う”をコンセプトに誕生したのが丹羽SOD美容法[SOD-IST]です。

お問い合わせ先



[当商品には合成着色料・合成保存料は使用していません]

製造・発売元  
**株式会社フジ流通システム**  
埼玉県富士見市鶴馬3489-1